



# 「森林サービス産業」 フォーラム&ワークショップ

～企業の“健康経営・働き方改革”に貢献する、新たな森林空間利用の創造に向けて～

## プログラム

- **主催** 「森林サービス産業」フォーラム&ワークショップ実行委員会  
(林野庁、Forest Style ネットワーク事務局、(公社)国土緑化推進機構、(一社)日本産天然精油連絡協議会)
- **後援** 全国知事会、全国市長会、全国町村会、全国山村振興連盟、(一財)地域活性化センター、(一社)移住・交流推進機構、全国健康保険協会、健康保険組合連合会、経団連自然保護協議会、(公社)日本観光振興協会、(一社)日本旅行業協会、(一財)都市農山漁村交流活性化機構、(独)国立青少年教育振興機構
- **日時** 令和2年2月3日(月) 14:00～18:00 (交流会/18:30～20:00)
- **場所** 「農林水産省」講堂 (交流会/農林水産省地下1階 職員食堂)
- **趣旨**

山村の活性化に向けた「関係人口」の創出・拡大のため、森林空間を健康・観光・教育等の多様な分野で活用する新たなサービス産業への注目が高まっています。こうした中で、林野庁は企業の“健康経営・働き方改革”に貢献する「森林サービス産業」のあり方を検討し、今後「モデル地域」の創出に向けた多様な支援策を講じることとしています。

また、林地残材や枝葉等の未利用資源を有効活用し、植物から天然精油を抽出してアロマオイル(香料製品等)を製造する、いわゆる「香ビジネス」についても、消費者の健康志向の高まり等を背景に、成長のポテンシャルが高い分野として注目されています。

そこで、これらの検討内容を紹介するとともに、関係者が一堂に会し、相互の連携を強化する機会を提供するために各種行事を開催します。
- **内容**

14:00～18:00	フォーラム
18:30～20:00	交流会
13:00～18:30	パネル展示・個別相談会

### 【パネル展示出展団体】

- |                    |                          |
|--------------------|--------------------------|
| ○INFOM(国際自然・森林医学会) | ○南アルプスマウンテンバイク愛好会        |
| ○榊原商店              | ○Omorinos(岐阜県立森林文化アカデミー) |
| ○スペースキー            | ○森へ                      |
| ○Recamp            | ○ヨガワークス                  |
| ○デザイオ              | ○日本産天然精油連絡協議会            |
| ○東武トップツアーズ         | ○バシフィックネットワーク            |
| ○日本ロングトレイル協会       |                          |



# 「森林サービス産業」フォーラム プログラム

● 開会挨拶 本郷 浩二 (林野庁長官)

● 基調報告 『健康経営につなぐ「森林サービス産業」の提案

～疾病予防・健康づくり、働き方改革、早期離職対策等に向けて～

木下 仁 (林野庁 森林利用課 山村振興・緑化推進室長)

● 事例報告 ① 35の企業等との協定締結で広げる、新たな森林保養地の形成

浅原 武志 ((株)さとゆめ 取締役・長野支社長)

2002年に信濃町役場に入職し、森林を活用した保養型観光地形成事業である「癒しの森事業」を担当。森林セラピーを導入して信濃町と都市部企業を35社提携させ、地域の活性化と企業の健全化を両立した連携モデルを樹立。長野県に出向中は、長野県と学校法人成城学園の包括協定をまとめるなど、都市と農山村をつなぐことを得意とする。2016年3月信濃町役場を退職し、現在は、株式会社さとゆめの取締役・長野支社長。

② 医療法人グループによる森林・農園を活用した「保健リゾート」の創出

春日 未歩子 ((株)グリーンドック 取締役)

精神科医療機関での経験から、企業でのメンタルヘルス対策の構築、健康向上・予防を目的としたホテル運営を通して、さまざまな精神的な問題を抱える方々をサポートしている。現在は、自然環境の中で、こころとからだと自然のつながりを取り戻すことで、自己肯定感を高める支援を中心に活動。精神保健福祉士・公認心理師・2級キャリアコンサルティング技能士。

③ 「クアオルト健康ウォーキング」で拓く、企業の健康経営

～従業員向け「宿泊型保健指導」から「認知症予防保険」契約者向けツアー～

宮田 武志 (太陽生命保険(株) 広報部長)

1988年4月 太陽生命保険相互会社 入社、1999年4月 同社 塩釜支社長、2002年3月 同社 千住支社長、2009年9月 太陽生命保険株式会社 総務部長、2013年4月 同社 熱田支社長、2014年3月 同社 契約部部長、2019年5月 同社 広報部長(現任)。

④ 社有林での社員研修で拓く、社員の健康づくり・早期離職対策

関本 和彦 (TDK ラムダ(株) 経営機関本部 本部長)

1985年ネミック・ラムダ(株)(現 TDK ラムダ)に入社。営業部門とシンガポール・イスラエル・フランスの海外勤務を経て、2005年から管理統括部、2019年から経営企画本部。2007年長野県信濃町と「森林の里親協定」を締結し、現在も活動を継続中。

⑤ 日本産アロマを使ったコミュニケーション

藤波 克之 (FSX(株) 代表取締役社長 兼 最高経営責任者)

1974年東京都生まれ。法政大学卒業後、NTTグループ勤務を経て、2004年に前身である藤波タオルサービスへ入社。2009年 代表取締役専務に就任。2013年9月より現職。

● 概要報告 『「森林サービス産業」検討委員会 専門部会報告』

【報告者】 安藤 伸樹 (全国健康保険協会(協会けんぽ) 理事長、エビデンス専門部会長)

1978年3月流通経済大学経済学部卒業、同年4月日本通運株式会社入社。2011年6月営業企画部担当執行役員、常務執行役員を経て、2015年5月日本通運健康保険組合理事長に就任。2017年9月末に同社退社。同年10月全国健康保険協会理事長に就任、現在に至る。

鍋山 徹 ((一財)日本経済研究所 専務理事、情報共有専門部会長)

1959年生まれ。早稲田大学法学部卒。1982年日本開発銀行(現日本政策投資銀行)入行。2000年米国スタンフォード大学(国際政策研究所)派遣、産業調査部長を経て、現職。日本プロジェクト産業協議会 林業 WG 主査、新化学技術推進協会 戦略委員会委員他。近著に「地域創生のプレミアム(付加価値)戦略」(共著)中央経済社、「Facebook 미래の目」(日本政策投資銀行 HP)連載。

稲本 正 ((一社)日本産天然精油連絡協議会 専務理事、香イノベーション専門部会長)

一般社団法人日本産天然精油連絡協議会専務理事。正プラス株式会社代表取締役。岐阜県教育委員会委員。飛騨高山にて、「国産材でお椀から家具、建物まで」のオーグヴィレッジを創設。世界の森林を巡った後、精油成分の力に着目し、日本産精油ブランド「yuica」を創設、新しい森林由来の精油、化粧品等を開発、販売。著書に『森の惑星』日本の森から生まれたアロマ』(いずれも世界文化社)等、多数。

● ディスカッション 『健康経営に貢献する「森林サービス産業」の未来』

【進行】 宮林 茂幸 (東京農業大学 地域創成科学科 教授、森林サービス産業検討委員会委員長)

1953年長野県生まれ、東京農業大学教授、専攻は、地域デザイン学、森林政策学、山村経済学、森林レクリエーション学など。全国各地の山村に入り地域活性化について実践的に活動。最近では、流域連携・交流や源流学について鋭意研究。美しい森林づくり全国推進協議会事務局長、森林レクリエーション産業化に関する調査研究座長、荒川流域ビジョン協議会会長などを勤める。

【登壇】 基調報告者、事例報告者、概要報告者

● 開会挨拶 沖 修司 ((公社)国土緑化推進機構 専務理事)